



Web検索で見えて来る 日本語学習を希望する人たち ～ Web検索で学ぶ場・居場所に問合せ～

現在TNVNのHPで検索出来る都内の日本語教室は、2019年12月現在 区部165教室 市部73教室 合計238教室あります。

そのうちTNVNの会員団体の教室は、区部86教室 市部35教室 合計121教室です。

半分は非会員団体の教室ですが、学習希望者への情報として掲示しています。

2019年1年間の学習希望者からの問い合わせ内容をまとめました。

1 学習希望者からの問合せ数

2019年1月～12月の1年間にあった「問合せ」。

学習希望者からの問合せ件数 1555件 (月平均130件)

問合せした学習希望者数 1066人 (89人)

国籍を記入した学習希望者数 474人

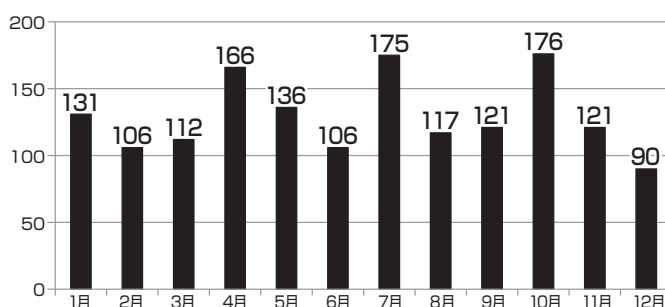
一人で複数の日本語教室に問合せをする人もいます。

半数近くは自分の名前と国籍を書いて問い合わせています。

月平均の問合せは、2015年は40人でした。2019年は130人と3.3倍になっています。

[図1] は2019年月別の問合せ件数の合計です。

[図1] 2019年月別・学習希望者問合せ件数



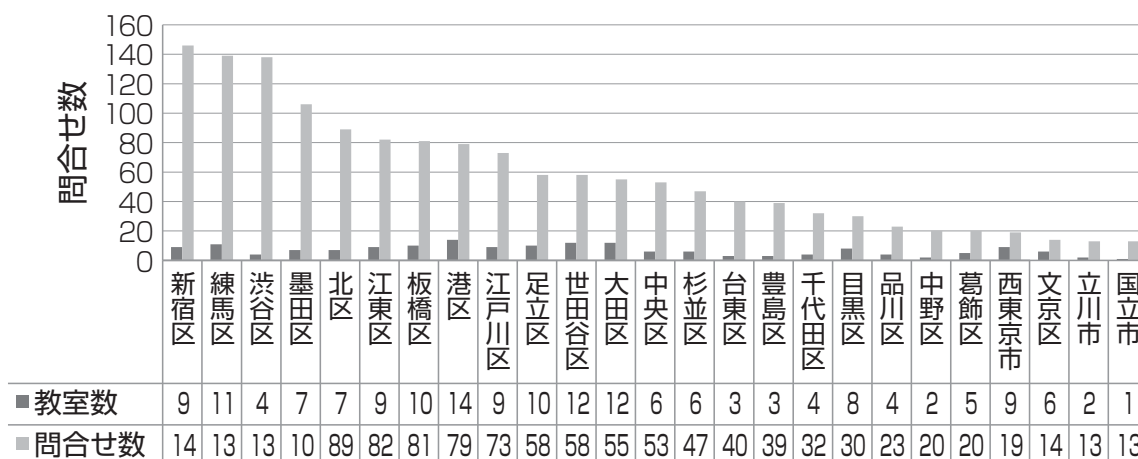
2 区市別の日本語教室への問合せ

[図2] に区市別の問合せ数上位25区市をグラフにしました。

渋谷区、新宿区、練馬区、北区の日本語教室が上位にあります。月10件以上です。

上位に並ぶのは区部で市部の西東京市、立川市、国立市が20位台です。

[図2] 区市別日本語教室への問合せ総数(上位24)



3 問合せの内容

(1) 国・地域別(国名記入者のみ)

上位はやはり中国、韓国、ベトナムの順です。70%近くを占めています。

90%近くがアジア圏となっています。

[表1]

国・地域別	(国記入者)	
国名	人数	割合 (%)
中国	147	32.9
韓国	98	21.9
ベトナム	55	12.3
台湾	30	6.7
フィリピン	11	2.5
インド他14ヶ国	47	10.5
ヨーロッパ	30	6.7
北米	15	3.4
南米	7	1.6
アフリカ	5	1.1
ロシア	2	0.4
合計	447	

(2) 滞在の立場(全問合せ1066人)

記述がなく不明73%と多く全体には分類できませんが、家族に関する問合せが8.6%と多い。中でも配偶者の日本語学習が多く、子どもの夏休み帰国時の勉強もあります。

留学生・日本語学校生は5.4%で会話を希望する人が目立ちます。

またワーキング・ホリデーで来日する若者等も最近多くなっています。

[表2]

区分	人数	割合[%]
ワーキング・ホリデー	42	3.9
留学生・交換留学生・研究生ほか	80	7.5
仕事・会社	44	4.1
家族(妻・夫・子ども・親)	92	8.6
知人・友人ほか	23	2.2
観光など	5	0.4
不明	780	73.2

(3) 問い合わせの目的(全問合せ1,066人)で纏めると

参加24.7%、勉強14.9%の希望を持つての問合せは当然でしょうが、入会・申込方法、参加方法、情報が欲しいなどが22%となっています。

会話・交流とコミュニケーションを望む人も多くいます。

[表3]

区分	人数	割合(%)
会話・交流	68	6.4
勉強	159	14.9
参加	263	24.7
興味、その他の目的	66	6.2
入会・申込方法、参加方法	113	10.6
情報ほか	42	3.9
その他	79	7.3
不明	276	25.9
計	1066	99.9

(4) 問合せから

学習の目的で「勉強」より「参加」の希望が多いのは「会話・交流」と合わせて、日本語教室で日本語を学ぶだけでなく、日本文化に興味を持ち、参加している人たちと交流をするなどの居場所として、期待を持っているかと思えます。

仕事・会社などでは日本語能力、特に会話での意思疎通が求められるので、限られた時間を取って勉強の場を求めています。

一方で参加方法・入会方法、教室の様子などの問合せが多く、希望する日本語教室の情報をもっと知りたい人も多い。情報の出し方にひと工夫を要するのかも知れません。

4 地域の日本語教室を Web で検索する

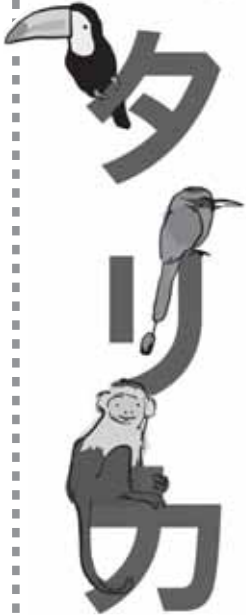
インターネットで日本語教室を検索すると、都内の日本語教室紹介(一覧)はTNVN HP だけで、その他は一部の役所と国際交流協会が同区市内のボランティア日本語教室(一覧)を紹介しているのが現状です。

しかし、周辺の県はマップ等を活用し、利用し易くした県内の日本語教室一覧を紹介しています。

Web 検索が情報入手の重要手段となっている昨今、都内の日本語教室一覧も日本語学習希望者に利用しやすいものにするのが不可欠と考えます。



(梶村 勝利)



ガブリエラ(コスタリカ)

ピバ日本語教室(港区)

「コスタリカ」はその名の通り「豊かな海岸」です。コスタリカの51,100km²の土地には、世界のいろいろな生物の内の6%がいます。私の国は、二つの海、太平洋とカリブ海の間であって、アメリカ大陸の最も細い部分で、北と南を結ぶ橋となっています。長い歴史を通じて動植物がこの「橋」を渡ってきました。この戦略的な場所のおかげで、コスタリカは多くの異なる生態系の本拠地です。

熱帯雨林

熱帯雨林の木々には、一年中大量の雨が降ります。コスタリカの熱帯雨林には、毎年500cm以上の雨が降ります。日本で最も雨量の多い沖縄の2倍以上の雨が降ります。湿度が非常に高いので、鳥、両生類、魚、爬虫類などが住むのに最適です。これらの森をハイキングしていると、ヘビ、カエル、ナマケモノをよく見かけます。

雲霧林

雲霧林はその名の通りで、このエコシステム（生態系）は霧と雲に覆われています。これらの土地の住民には、6種類の大きな野生の猫、猿、青いモルフォ蝶のようなさまざまな種類の昆虫などがいます。コスタリカで私のお気に入りの場所、モンテペルデのように、これらの森林は保護地域です。

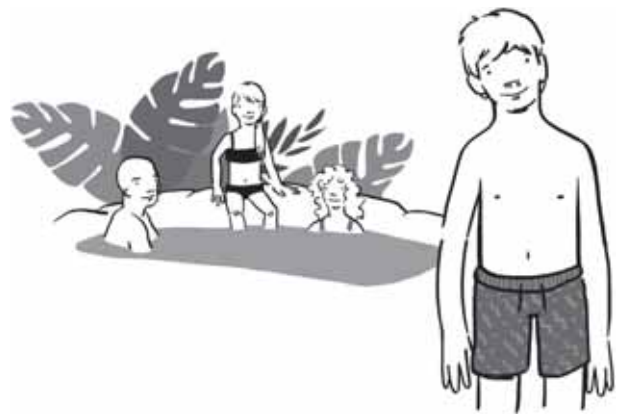
熱帯乾燥林

北太平洋に位置する熱帯乾燥林はほとんど雨が降らず、コスタリカの動物相の象徴であるコーラブランカ鹿が生息しています。

マングローブ（沼地）

この森では、塩水と川からの淡水が混ざっています。ここの樹木は水位より上の根で成長します。これらの根は、イグアナ、カニ、ロブスター、エビなどを、ワニのような捕食動物から守る盾となっています。

これらのさまざまな森林とは別に、コスタリカにはたくさんの火山があります。火山の地熱エネルギーと温泉のおかげで、コスタリカ人も日本人と同じように温泉文化を楽しんでいます。唯一の違いは、コスタリカ人が水着を着ることです。



日本と同じように、コスタリカは平和文化の道を歩んできました。1948年、私の国は軍勢力を解散し、教育と健康にリソースを向け直す、世界でも数少ない国の一つとなりました。

かつて、大阪生まれの笹川良一さんが私の国を訪れ、こう言いました。「子どもが兵士にならないことがわかっているコスタリカの母親は幸せである。」私たちコスタリカ人がとても誇りにしている言葉です。

これは私の国の紹介のほんの一部です。もっと紹介する代わりに、「ぜひコスタリカへ来てユタカナ海岸を自分で発見してください！」

(イラスト ガブリエラ)

アメリカのいなかの 金子は

日本語教師 金子広幸

なんと！私にもアメリカで外国人として暮らす機会が来ました。今まで縁あっていくつかの海外の大都市で生活しましたが、アメリカは私にとっては2回目で、しかもいなかで暮らすのは生まれて初めてです。台湾時代の友人の息子、BJの家で、東京とは全く違う暮らしです。

今回は、私が感じたことをご紹介します。立ち返って日本に暮らす外国人市民の立場を考えてみましょう。

まずは「ヒト」の風景から。

ここには外を歩いている人がいます。見渡して生き物で見えるのは鶴と牛とリスです。私は普段大学までぎゅうぎゅうづめの地下鉄に乗って通っていますから、「人がいない」ことに慣れていない自分に驚きました。

ここで、外国人市民の立場に立ってみましょう。昨年の夏BJは2ヶ月東京の私の家に住んでいましたが、「東京は人が多い」と恐ろしがっていました。私と一緒に歩く時ははぐれないように「金魚の何とか」のように後ろにくっついていました。あの時は謎

でしたが、BJの気持ち今はわかります。慣れないものへの違和感です。

次に、足がなくて困っています。私は運転免許がなく、用があるとBJに頼んで乗せてもらっています。スーパーも歩いて片道50分かかるので、医師として忙しく働くBJがいない時は、大きなリュックサックを持って、歩行者がいない歩道を、とぼとぼと歩いて行かなくてはなりません。

そして、一人だと奇異の目で見られてしまうかとこわごわ歩いていたら、ごくたまに会える人のほとんどが挨拶してくれるのです。同じコミュニティの人たち、自転車ですれ違う人、道路工事のおじさんたち、音楽をイヤホンで聴きながら歩く若い女性もわざわざイヤホンを外してにっこりと微笑んで、また、車のドライバーは交差点で信号待ちをしている私にまで実に丁寧に礼儀正しくにこやかに挨拶してくれるのです。もちろんアメリカ初心者の方は十分に警戒していますが、初対面なのに、そこで立ち話が始まり、個人情報聞かれる、聞かれる！おかげでずいぶん英語に慣れました。

ここで、また、外国人市民の立場に。

日本是世界一の礼儀正しい国、と私たちは刷り込まれていますね？でも、東京で知らない人に挨拶する人なんていませんよね。私たちは認識を新たにしたい方がいいかもしれませ

ん。何より思ったのは「自分は礼儀正しい」と手前勝手に思い込んでいる日本人はさぞ傲慢に見えることでしょう。

さらに続けましょう。店で対応してくれる人たちは丁寧でフレンドリーでした。どこでもチップがあって、サービスを受けたらそれを評価して代金を払うのですが、チップを払わない場所でも、東京の商店よりはずっと丁寧でフレンドリーに感じました。私が目立つアジア人のキュートな？おじさまだからか、一度会った店員は覚えてくれていて「今日ご機嫌いかが？」と聞いてくれるのです。…大阪みたい…。「日本のサービスに影響を与えたのはアメリカだったのか！」とか、「日本のお・も・て・な・しは形は重んじるけれど、心はこもっていないな」とも感じました。

散歩に出かけていたらアジア系の人に声をかけられ、中国語を話すその若夫婦と話が盛り上がり、ついにはその人のお宅にお邪魔させてもらうことにもなりました。こんなこと東京ではないだろうなあ。

ここでまた外国人市民の立場に。「ここから東京に来る人はきっと日本は冷たいと感じるだろうなあ」ここまでが「ヒト」の印象です。

次は「モノ」についてです。驚いたのはカレンダーがないこと。これがどこを探してもありません。学生たちが

使う聴解試験の問題集には音声だけでカレンダーを想像させたり、日程を特定する問題がありますが、アメリカの学生には不利だと思いました。

また、これも意外なことに、(と言うとアメリカには失礼な話ですが) 値段は高いものの、食料品の品質が日本よりはるかに良いことにも驚きました。日本では社会的な理由でアメリカの食品のイメージが歪められているのかと考えました。

そして、小さい街ながらあちこちにアジアンマーケットがあり、頼りになる存在です。大根、白菜 (NAPPA cabbageと言うんです!)、しそ、柿、そうめん、麺つゆ、五目ずしの素まで、大抵の日本の食べものはここで揃います。そしてあちこちに催し物や生活情報が、中国語や韓国語、そして少しだけ日本語で掲示されているのです。日本はアジアの国なのです…。

日本に暮らす外国人の人たちも集まって暮らしていますし、世界の諸文化のマーケットが東京のあちこちにできましたよね。頼りにされていることと思います。

それから、こちらのモノはとにかく単位が大きくて慌てます。朝ごはんは鮭を焼こうと思っても、ほとんど半身の鮭しかなくて、結局全部バター焼きになり、それをBJと切り分けて食べるという感じです。食器も大振りで、ご飯茶碗・小鉢などは見当たりません。私の東京の部屋の7倍ぐらいあるBJの部屋は暮らしやすいけれど、静かで広すぎて身の置き所がない気がします。

日本で暮らす外国人の学生はきっと反対に単位・寸法の小ささ、短さ、狭さに困っていることと思います。

では、「ヒト」、「モノ」の次に「ツドイ」を見てみましょう。

BJと楽しく生活していても、彼は

働いていますから、車がないと自然と外に行く機会も少なくなります。人間関係もないので、生活に慣れないとだんだん言い知れない不安が忍び寄ってきます。私はこれを「社会参加欠乏症」と呼ぶことにしました。

とにかく誰かと話したくなるんです。英語の練習を手伝ってもらい、生活で感じたことを一緒に話してくれる人が欲しいんです。アメリカの南部の英語は、金子が慣れているロンドンやニューヨークとも違って、わかりにくいことがあります。店の人は前述の通り愉快に対応してくれますが、私がむしるストレスを感じたのはそのステキな対応に私の英語力がついていけないということでした。せっかく「コーヒーには、小さいのから私の体の大きさまでありますけどwww」と可愛く言ってくれたスタ●のお嬢さんにも「…一番小さいのください」としか言えず、とても悲しかったです。

BJは日本語があまりできないので、結局私は日本語がほとんどない生活をする事になり、覚悟していたものの少し辛く感じました。

いろいろな理由で、日本の外国人市民になった人たちは、この「社会参加欠乏症」が多いんだろうなとさまざまな場面で実感しました。

だから、だんだん慣れてきて、同じコミュニティに住んでいるご近所の人たちに声をかけられ立ち話ができるよ

うになったとき本当にほっとしました。だてにこの仕事をしているからか、外国生活には慣れているように誤解していたのですね。これも一種の傲慢です。まあ、たまにはBJと、日本やアジアの映画を観たりして、無理をしないでいこうかな。それが金子風のやり方です。大丈夫、絶対にうまくいく。

それにしても、いろいろな理由で、日本の外国人市民になった人たちは、一体どんな気持ちで毎日生活していることでしょうか。

私は日本にいれば大学で日本語を教えるという「居場所」があるのですが、アメリカに来れば何もありません。「それがどうした!」と突っぱねることは簡単ですが、でもいざ孤立無援のところに来てみるとそれがどんなに不安なことか家族同様のBJがいてもそれは変わりません。

そんな時ありありと思い出したのは、…日本で地域日本語支援をされている皆さんの晴れやかな笑顔だったのです。

…これからもまたときどき外国人市民ぶりをお届けします。

フロリダ (Florida) のゲインズビル (Gainesville) の皆さん、仲良くしてくださいね。



いちごの部屋 (武蔵野市)

https://www.tokyo.ywca.or.jp/child/study_support/

はじめまして。東京YWCA武蔵野センターで活動している日本語・学習支援「いちごの部屋」です。2008年から武蔵野市を拠点に支援を行っています。

活動日は、週2回、木曜日17時から18時半（幼児と小学生）・18時半～20時（中学生）、土曜日10時半から12時で、子どもと保護者の支援をしています。現在登録している子どもは19名です。市内だけでなく、通いやすい近隣の市区からの参加もあります。公立校やインターナショナルスクールに通う子ども、就学前の子ども、在日期间、日本語の学習歴、学年によりそれぞれ支援内容は異なるので、子どもとボラ

ンティア1対1の支援を基本にしています。1人ひとりと向き合う時間を持つことで、普段「わからない」という思いをたくさんしている子どもたちが「わかった!」という喜びを重ねる場、楽しく学ぶ場、分からないことを恥ずかしがらずに伝えることができる場をつくることを心がけています。日常の支援の他、科学実験や多文化体験、夏は2泊3日のキャンプなどの体験プログラムも実施しています。

現在、大学生から80代まで幅広い年代のボランティア約30名とともに活動しています。「日本語指導を学んだから」、「海外在住経験があるので」、「子



どもたちを支えたいと思って」、などボランティアのきっかけは様々です。支援に関わる中で、子どもたちを取り巻く環境や支援時に大切にすることなど、色々なテーマで研修会をし、支援者自身も学び続けることが子どもたちへの良い支援につながると考えています。いちごの部屋のボランティアが協力し合い、また他の支援機関とも連携しながら、みんなで子どもたちの成長を守り続けていく地域づくりを目指しています。

会員団体紹介

Nice to Meet You

「しゃべろう日本語」の会は、日本語の学習が必要な主に日本に居住する外国人学習者の皆さんに対して日本語学習の支援を行うことを目的としています。2007年4月から本格的にボランティア活動を開始しました。文京区の社会教育関係団体として登録され、毎週土曜日の午前10時から午後0時までの2時間、千石図書館の2階でクラスを開いています。

現在活動しているボランティアは、文京区在住者を中心に約17名です。活動が土曜日で交通の便が良いことから、平日勤務している学習者さんが多く参加しています。最近では、中国、ベトナムなどのアジア諸国の出身者が多くなっています。2019年は、延べ425名が参加しました。日本語能力のレベ

nice to meet you

■自由で居心地の良い雰囲気づくりを大切に

「しゃべろう日本語」の会 (文京区)

ルが比較的高い学習者さんが多く、これまでに習得した日本語の知識を持って、会話力の向上を目的として参加される方が多いです。会としては、自由で居心地の良い雰囲気づくりが大切だと考えていて、ボランティア活動の良さを十分に活かしたいと思っています。

また、日本文化・行事の紹介、近隣地域についての情報提供も大切な活動としています。春には、近隣の公園・

植物園でお花見の会を催し、また、年末にはクリスマス食事会を開いて、学習者さんとボランティアの交流・親睦を図っています。

今後も、他の地域の日本語ボランティアグループのご活動・ご経験を参考にしながら、「しゃべろう日本語」の会として、より良い活動が出来るようにしていきたいと思います。



学習者の声

日本で頑張ります

フアム ティヌー ハウ／ベトナム

日本語ボランティア翼の会・夜の部(羽村市)



私はハウと申します。ベトナムから来ました。中学時代私は外国語の勉強に興味がありました。高校で学べるのは英語とロシア語

だけでした。高校入学試験に受かってお父さんから夢にまで見た中古の日本製自転車をいただきました。日本製は良いなと日本の物作りを知りたくて、自分で日本のものをよく理解する為、ベトナムの一流大学ハノイ国家大学の日本語学部に入学することで、私の興味と夢の一部が実現できました。

ベトナムにある会社の物作りと日本の物作りとの相違点を体験したくて日本で仕事をすることにしました。来日して驚いたことがあります。それは次の三つです。

・車は歩行者を優先すること

・トイレの水でものめること

・部屋で大声を出すと近所から怒られること

同僚が翼の会・夜の部を紹介してくれました。私の先生は教材を使いませんがグループのLINEで次回分の日本語の資料を供給してくれます。先生のやり方が好きです。私たちはどこでもいつでも先生からの資料が見られます。それにペーパーレスで良いね。先生から日本の文化(現代と伝統的なこと)と、ホットなニュース、生活に役立つことまで教えていただきました。

日本のことの勉強だけでなくクラスでは中国、ブラジル、アメリカの友達に出会うことができました。各国の友達からの面白い話、特徴も聞くことができました。翼の会・夜の部は外国人の私たちに役立つものだと思います。

クラスで勉強して自分の日本語の能力が進歩しているという感じです。他の友達の成長しているのもわかります。

ボランティアの声

代表 吉田 敏夫

日本語ボランティア翼の会・夜の部(羽村市)

地域の外国人の良き

「日本語パートナー」に！

スタッフのお休みは誰々さん！LINEのスタッフ連絡用アドレスを確認することが、教室開講日のスタートです。私達の教室ではFacebook,Homepage,LINEを利用して日本語ボランティア教室開講等に関する情報をタイムリーに、スタッフへ提供しています。しかし、昼の時間は仕事に従事しているスタッフがほとんどです。残業があったり、用事で、参加できないケースが多発、スタッフ不足に苦慮しているのが実状です。特に夜間開講教室のハンデキャップと言えるでしょう！

ペアティーチングを目標に当日受講生徒の日本語レベルと、スタッフのコーディネイトを考えますが、難題です。

一方、技術研修生等の受講希望の生徒数は増加しています。

そこで、広く一般市民の皆さんの協力を得るため、明海大学准教授 中井延美先生を講師として招き、日本語ボランティア初心者向け講演会を開催する企画を立案、羽村市募集の市民提案型協働事業にエントリーし、数回の事前個別審査を経て、審

査会でのプレゼンの結果、審査通過、12月1日、募集定員20名募集で、「日本語ボランティアについて知る講座」と銘打って開催しました。参加市民21名、中井先生のお話は分かりやすく、具体的現場にそくした内容であり、とても好評でした。

講演後のアンケート「日本語のパートナーになれるそうですか？」との設問には、「なれそう」と半数、10人の聴講者から回答をいただきました。新しい「日本語パートナー」の誕生に期待して、胸膨らます2020年、東京オリンピックの年の幕開けです。



●TNVN代表が文化庁長官表彰を受賞致しました。

2019年12月6日（金）、東京ボランティア・ネットワークの梶村勝利代表が、令和元年度文化庁長官表彰（日本語教育を通じた国際文化交流及び多文化共生社会の実現）を受賞しました。同代表は20年余りに亘りTNVN代表、ボランティア日本語教室での外国人への日本語学習支援、多文化共生の推進、ボランティア養成講座講師などの活動を続けて来ました。今回、その長年に亘る活動が評価された事は、我々スタッフも大変喜んでいます。又、東京都国際交流委員会会長である中で、都内の日本語ボランティア・日本語ボランティア教室の抱える問題などを、行政に発信しています。

TNVNでは、梶村代表の文化庁長官表彰受賞を機に、会員の皆様と、改めて、世界の人々が交流する居場所としてのボランティア日本語教室の在り方を考え、多文化共生社会推進に向けた情報センターとして、又、会員の交流の場として、活動を強化して行きたいと考えています。

●第27回定期総会のご案内

日 時：2020年4月19日（日）13時00分～

会 場：「社会福祉法人」さぼうと21会議室

詳細は別途ご案内致します。総会后、東京都生活文化局の方のご講演があります。多数の会員にご出席いただき、忌憚のないご意見をお願いしたいと思ひます。

●TNVN事務局スタッフ募集

現在、代表、副代表、事務局長を含め7名が交代で、毎週金曜日14時00分～16時00分の間、TVACロビーで事務局の活動を続けています。TNVNの社会的な役割が増し、業務量が増えて来ている一方、スタッフの数は十分とはいえません。将来に亘りTNVNの活動を安定して続けていく為に、月一回、金曜日の午後2時間、事務局を手伝ってくださる方を募集しております。事務局の活動は事務作業が中心ですが、毎週楽しく作業しています。又、地域の活動では得られない色々な情報が沢山得られます。

column

「ビスターリの国・ネパール」

昨年11月、冥途の土産にすべく、「エベレスト展望トレッキングツアー」でネパールへ行って来た。500ccのペットボトルと貴重品以外は全てポーターさんと動物隊に運んでもらうという軟弱トレッキングである。

高度2,840mのルクラから、チベットとの交易で栄えたナムチェ（3,440m）まで3日をかけてエベレスト街道を歩く。先頭はシェルパ族の青年。「ビスターリ、ビスターリ（ゆっくり・ゆっくり）」と唱えながらリードしてくれる。「ビスターリブリーズ」と二番手に続くが、息が苦しく喘ぎ喘ぎの歩行となる。無事ナムチェに到着した時は好天と幸

運に感謝。夕方、ロッジの裏山から金色に染まるエベレスト山やアマダブラム山を見た時には「大変、山が燃えているわ」とアルプスの少女ハイジの真似をした。

翌日訪れたシェルパ族の里・クムジュン（3,900m）の「ヒラリー高校」では学生たちがサッカーをしているのには驚いた。

カトマンズでは観光もしたが、インフラ整備が遅れており、万事が「ビスターリ」。まだまだこれからの国という印象。素晴らしい自然と調和しながらの発展に日本が寄与できるのではと思った。

（岡田）



東京日本語ボランティア・ネットワーク（TNVN）は都内のボランティア日本語教室のネットワークで、会員からいただく会費で運営している民間の団体です。会員は日本語学習支援活動を通して、言葉のため日常生活に不自由を感じている外国人を、隣人として支援しています。又、TNVNは会員への情報提供・会員相互の情報交換、および外部との情報受発信を行い、活動の活性化を図ります。

東京日本語ボランティア・ネットワーク事務局の活動

◆日時：毎週金曜日午後2時～4時
第5金曜日／休み

◆場所

東京ボランティア・市民活動センター
JR、地下鉄（東西線・有楽町線・南北線・大江戸線）出口B2b 飯田橋駅下車
セントラルプラザビル 10F ロビー

◆日本語ボランティア相談窓口

日本語ボランティアの活動についてのご相談・ご質問にベテランスタッフが応えています。メール・電話でご確認の上、気軽にお越し下さい。また、メールでのお問い合わせにもお応えしています。ご意見もお待ちしています。

〒162-0823

東京都新宿区神楽河岸1-1

東京ボランティア・市民活動センター

メールボックス No.4

◆TEL：03-3235-1171

（呼出：金曜日活動時間帯のみ）

◆FAX：03-3235-0050

◆E-mail：webadmin@tnvn.jp

◆URL：http://www.tnvn.jp/

◆郵便局払込

口座番号：00100-1-719259

加入者名：東京日本語ボランティア・ネットワーク

◆会員数（2019年11月15日現在）

正会員：90団体

個人協力会員：16名

賛助会員：3団体

◆編集／大木 千冬、岡田 美奈子、小川 伶子、梶村 勝利、佐久間 雅子、神 歩、床 呂 英一、林川 玲子、山内 眞理

◆レイアウト／美巧社